

平成30年度 第1回 支援相談員部会研修会レポート

記載者：介護老人保健施設なでしこ 支援相談員 兼本一成

< 日時 > 平成30年9月20日 13:30～16:00

< 会場 > 山口県セミナーパーク 研修室201

< テーマ > 老健として生き残っていく為に

< 内容 > 13:30～開会宣言 グループワークの説明

13:45～15:30 グループワーク・各グループで話し合った内容の発表

今年介護報酬改正が施行され、介護老人保健施設については在宅復帰・在宅療養支援の評価に新たな仕組みが導入されました。支援相談員部会では、改正についての各施設の受け止め方や取り組み方、相談員業務の変化や疑問・悩み等を、県内全老健施設の支援相談員を対象にアンケート調査を実施し、アンケート結果を基にしたグループワーク『老健として生き残っていく為に』を行いました。



アンケートは入所編・通所編の2つの項目で調査しました。入所編の主な調査内容は、①現在算定している施設区分と今後目標にしている施設区分、②各施設の在宅復帰・在宅療養支援機能指標の状況、③その他施設に聴いてみたいこと。通所編の主な調査内容は、①リハマネ加算の算定状況、②生活支援向上支援加算・社会参加支援加算の算定状況、③リハマネ加算について他施設に聴いてみたいこと。64施設中42施設からの回答を頂き回答率は65%でした。

入所①では現在：超強化型(1)在宅強化型(2)加算型(13)基本型(20)その他(6)、目標：超強化型(2)在宅強化型(12)加算型(15)基本型(10)その他(0)という結果になり、どの施設も現在の施設区分より1つ上の区分を目標としていると言う事がわかりました。入所②では現在の在宅復帰・在宅療養支援機能指標の内訳を集計し、各施設が力を入れている項目や、逆に苦戦している項目を確認しました。入所③では①・②以外でどのような加算を算定しているか、それを算定するにあたってどのような事に注意しているか等を調査しました。

通所①では各施設のリハマネ加算の算定状況を確認し、リハマネⅠ(28)リハマネⅡ(12)リハマネⅢ(14)リハマネⅣ(2)という事がわかりました。通所に関しても今後は1つでも上の算定を目標にしている事もわかりました。通所②では生活行為向上加算を算定している施設が2。社会参加支援加算を算定している施設が3という状況でした。



グループワークは入所5グループ・通所2グループに別れて行いました。入所では入所前後訪問や地域貢献活動等について、通所ではリハビリ会議等について、各施設での具体的な実践方法を情報交換しました。得られた情報には明日からでも実践できそうなこともあり、在宅復帰やリハビリ会議の取り組みに試行錯誤している施設にとっては大変貴重な情報となりました。また同じ職種だからこそ相談できる話し合いも行うことができ、各グループともに有意義な時間となりました。